

2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月15日
東

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所
 コード番号 8254 URL <https://www.saikaya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山野井 輝夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 中野 宏治 (TEL) 046 (822) 8003
 定時株主総会開催予定日 2024年11月18日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年11月19日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の連結業績 (2023年9月1日~2024年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	4,950	△4.9	110	△23.3	100	△24.1	72	646.1
2023年8月期	5,204	—	144	—	132	—	9	—

(注) 包括利益 2024年8月期 40百万円(—%) 2023年8月期 △5百万円(—%)

(注記) 1. 前々連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、6か月間(2022年3月1日~2022年8月31日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため2023年8月期の対前期増減率は記載しておりません。

2. なお、参考として、前々年12か月(2021年9月1日~2022年8月31日)と対比した場合は次の通りです。

2023年8月期売上高: 対前期比109.9%

営業利益: 対前期比—%(343百万円増による黒字転換)

経常利益: 対前期比—%(358百万円増による黒字転換)

親会社株主に帰属する当期純利益: 対前期比—%(255百万円増による黒字転換)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	14.67	11.29	12.2	0.8	2.2
2023年8月期	1.97	1.51	1.7	1.1	2.8

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 一百万円 2023年8月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	11,806	617	5.2	△25.10
2023年8月期	12,153	576	4.7	△33.34

(参考) 自己資本 2024年8月期 617百万円 2023年8月期 576百万円

(注) 1株あたりの純資産額は「期末純資産額617百万円-期末発行済優先株式発行価額741百万円=△124百万円」を、期末発行済株式数(自己株式を除く)で除して算出しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	259	△390	△3	1,649
2023年8月期	367	△135	△3	1,784

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年8月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,234	△15.4	72	8.2	63	8.1	53	10.1	10.79
通期	4,404	△11.0	114	2.9	103	2.3	87	20.1	17.63

(注) 通期 売上高：対前期比89.0%
 営業利益：対前期比102.9%
 経常利益：対前期比102.3%
 親会社株主に帰属する当期純利益：対前期比120.1%

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における連結範囲の重要な変更に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に関する注記

(3) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年8月期	4,970,314株	2023年8月期	4,970,314株
2024年8月期	16,230株	2023年8月期	16,064株
2024年8月期	4,954,124株	2023年8月期	4,954,305株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

発行済株式数に関する注記

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年8月期の個別業績(2023年9月1日～2024年8月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	4,941	△5.0	107	△22.5	97	△23.2	69	1,458.6
2023年8月期	5,199	—	139	—	126	—	4	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年8月期	14.11		10.86					
2023年8月期	0.91		0.70					

(注) 前々事業年度は決算期変更の経過期間となり、当社は6ヶ月(2022年3月1日～2022年8月31日)の変則的な決算となっております。このため、2023年8月期の対前期増減率は記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	11,595	489	4.22	△50.96
2023年8月期	11,898	451	3.79	△58.64

(参考) 自己資本 2024年8月期 489百万円 2023年8月期 451百万円

2. 2025年8月期の個別業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	2,232	△15.5	71	2.0	62	1.0	52	1.3	円 銭 10.59
通 期	4,400	△11.0	112	3.6	101	3.6	85	22.1	17.22

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. 補足情報	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

前年度から実施してきました抜本的な経営スキーム改革の継続を推進したことにより、8期連続で計上し続けた赤字を9期ぶりに黒字転換とした前年度に引き続き、黒字化を実現し、2期連続での黒字を計上いたしました。

営業面におきましては、藤沢店では、ヤマダデンキが昨年6月に開店して以降、百貨店ゾーンとの相乗効果が得られたことに加え、賃料収入が拡大しました。これに続き、横須賀店では、地下1階に、食品スーパー「ヨークフーズ」が3月20日に開店、1階にドラッグストア「サンドラッグ」が6月19日に開店したことにより、藤沢店と同様の効果が出ております。更に、横須賀店3階への「ファッションプラザ パシオス」「シュープラザ」開店(9月25日)、藤沢店地下1階への食品スーパー「ライフ」開店(今秋)に伴う改装セールを開催し、売上増に寄与するとともに、当該テナント開店以降の更なる賃料収入の拡大を見込んでおります。

自社運営の金地金買取におきましては、金の市場価値の高騰により通期を通じて好調に推移いたしました。また、新規事業として、藤沢店にて若手社員が中心となり自主運営するショップ「mili mili byさいか屋」を5月8日に開店、グループのシナジー効果を活用した事業として横須賀店に「うなぎの佳川 さいか屋横須賀店」が開店しており、連日多くのお客様にご来店いただいております。

経費面では、徹底したローコストオペレーションの推進を継続しており、これに賃貸スペースの増加が加わったことにより、販売費及び一般管理費を大幅に削減しております。

以上の結果、当連結会計年度の連結業績につきましては、売上高は4,950百万円(前連結会計年度比95.1%)、営業利益110百万円(前連結会計年度比76.7%)、経常利益100百万円(前連結会計年度比75.9%)、親会社株主に帰属する当期純利益72百万円(前連結会計年度比746.1%)となり、通期での黒字化を継続いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の財政状態に関し、総資産については、前連結会計年度末に比べ346百万円減少し11,806百万円となりました。

負債については、前連結会計年度末に比べ386百万円減少し、11,189百万円となりました。

純資産については、前連結会計年度末に比べ40百万円増加し617百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ135百万円減少し、1,649百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、259百万円の収入(前連結会計年度は367百万円の収入)となりました。主な収入項目は、減価償却費332百万円、主な支出項目は、仕入債務の減少額300百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、390百万円の支出(前連結会計年度は135百万円の支出)となりました。主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出273百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3百万円の支出(前連結会計年度は3百万円の支出)となりました。主な支出項目は、リース債務による支出3百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年2月期	2022年2月期	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期
自己資本比率 (%)	4.6	3.5	5.0	4.7	5.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	7.9	9.5	11.8	15.7	20.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	85.2	23.6	33.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	7.7	13.9	7.6

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己PBR比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

4. 2021年2月期及び2022年2月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

抜本的な経営スキームの改革を進めてきたことにより、今期で2期連続の黒字化を達成しました。しかしながら、改革は未だ途上であり、黒字体質を常態化するためには、改革の更なる推進が必要であると考えております。

今後におきましては、全社的な既存店舗の再編、グループシナジー効果を活用した各種施策の実行、金・地金買取の強化の推進を継続的におこなうとともに、今期は、横須賀店3階に「ファッションプラザ パシオス」「シュープラザ」が開店(9月25日)、藤沢店地下1階に食品スーパー「ライフ」(今秋)が開店することによる賃料収入増加に加え、百貨店ゾーンとの相乗効果拡大を狙った企画の強化を実行し、収益の拡大に努めてまいります。外商部門におきましては、引き続き高収益商材の販売強化と新規顧客(法人・個人)へのアプローチ強化に注力してまいります。

このほか、費用面におきましては、ローコストオペレーションの更なる推進をおこない、各種経費の削減と合理化に努め、効果的な経費運用に取り組んでまいります。

以上のことにより、次期の連結業績見通しにつきましては、連結売上高4,404百万円、連結営業利益114百万円、連結経常利益103百万円、親会社株主に帰属する当期純利益87百万円をそれぞれ見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を適用しております。将来のIFRS(国際財務報告基準)の適用について、国内外の動向も踏まえて、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,784,800	1,649,669
売掛金	430,637	285,516
商品	367,634	279,897
貯蔵品	39,281	59,880
その他	320,223	315,207
流動資産合計	2,942,576	2,590,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,471,841	2,340,615
土地	4,563,475	4,563,475
リース資産（純額）	7,225	3,757
その他（純額）	25,636	78,714
有形固定資産合計	7,068,178	6,986,562
無形固定資産		
その他	14,393	39,574
無形固定資産合計	14,393	39,574
投資その他の資産		
投資有価証券	252,895	221,110
長期貸付金	3,000	15,000
敷金及び保証金	1,403,547	1,392,563
破産更生債権等	12,286	12,286
長期前払費用	406,310	499,805
その他	62,175	62,175
貸倒引当金	△12,270	△12,270
投資その他の資産合計	2,127,945	2,190,671
固定資産合計	9,210,517	9,216,807
資産合計	12,153,094	11,806,978

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	938,116	637,577
1年内返済予定の長期借入金	—	1,464
未払法人税等	20,247	17,855
賞与引当金	11,497	13,987
契約負債	875,564	799,970
その他	330,072	277,992
流動負債合計	2,175,498	1,748,848
固定負債		
長期借入金	8,655,000	8,653,536
退職給付に係る負債	264,771	235,010
資産除去債務	168,691	171,652
リース債務	4,106	317
その他	308,687	380,423
固定負債合計	9,401,257	9,440,940
負債合計	11,576,756	11,189,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,195,768	2,195,768
資本剰余金	1,887,556	1,887,556
利益剰余金	△3,437,039	△3,364,338
自己株式	△43,284	△43,348
株主資本合計	603,000	675,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,662	△58,447
その他の包括利益累計額合計	△26,662	△58,447
純資産合計	576,338	617,190
負債純資産合計	12,153,094	11,806,978

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	5,204,675	4,950,143
売上原価	2,082,740	2,392,049
売上総利益	3,121,935	2,558,093
販売費及び一般管理費		
販売費	173,967	138,640
広告宣伝費	267,005	151,370
給料及び手当	796,115	691,191
賞与	11,655	26,037
賞与引当金繰入額	△1,915	2,490
退職給付費用	25,953	23,938
その他の人件費	143,122	131,060
地代家賃	499,471	400,460
委託作業費	256,663	219,198
減価償却費	299,141	267,182
その他	506,603	395,978
販売費及び一般管理費合計	2,977,785	2,447,549
営業利益	144,149	110,544
営業外収益		
受取利息	85	184
受取配当金	2,795	3,415
受取手数料	1,143	1,056
ポイント調整費	6,670	4,000
固定資産受贈益	—	13,244
投資有価証券売却益	2,468	—
その他	1,964	3,221
営業外収益合計	15,128	25,121
営業外費用		
支払利息	26,597	34,271
その他	340	971
営業外費用合計	26,938	35,243
経常利益	132,340	100,422
特別損失		
固定資産除却損	127	1,679
事業構造改善費用	116,667	20,281
特別損失合計	116,795	21,961
税金等調整前当期純利益	15,544	78,461
法人税、住民税及び事業税	5,801	5,760
法人税等合計	5,801	5,760
当期純利益	9,743	72,701
親会社株主に帰属する当期純利益	9,743	72,701

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
当期純利益	9,743	72,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,010	△31,785
その他の包括利益合計	△15,010	△31,785
包括利益	△5,266	40,916
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△5,266	40,916
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,195,768	1,887,556	△3,446,783	△43,251	593,289	△11,651	△11,651	581,637
当期変動額								
親会社株主に帰属する 当期純利益			9,743		9,743			9,743
自己株式の取得				△32	△32			△32
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△15,010	△15,010	△15,010
当期変動額合計			9,743	△32	9,711	△15,010	△15,010	△5,299
当期末残高	2,195,768	1,887,556	△3,437,039	△43,284	603,000	△26,662	△26,662	576,338

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,195,768	1,887,556	△3,437,039	△43,284	603,000	△26,662	△26,662	576,338
当期変動額								
親会社株主に帰属する 当期純利益			72,701		72,701			72,701
自己株式の取得				△64	△64			△64
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△31,785	△31,785	△31,785
当期変動額合計			72,701	△64	72,637	△31,785	△31,785	40,851
当期末残高	2,195,768	1,887,556	△3,364,338	△43,348	675,638	△58,447	△58,447	617,190

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	15,544	78,461
減価償却費	336,258	332,928
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△190	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,915	2,490
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△33,797	△29,761
受取利息及び受取配当金	△2,881	△3,600
支払利息	26,597	34,271
事業構造改善費用	116,667	20,281
固定資産除却損	127	1,679
売上債権の増減額 (△は増加)	△17,963	145,120
棚卸資産の増減額 (△は増加)	97,341	67,138
仕入債務の増減額 (△は減少)	△128,444	△300,538
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9,152	△38,904
未払費用の増減額 (△は減少)	△27,767	△18,303
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	247,467	71,736
契約負債の増減額 (△は減少)	△76,639	△75,593
その他	△92,455	5,364
小計	467,101	292,770
利息及び配当金の受取額	2,881	3,600
利息の支払額	△26,498	△30,967
事業構造改善支出	△72,748	—
法人税等の支払額	△3,626	△5,688
営業活動によるキャッシュ・フロー	367,108	259,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	5,048	—
有形固定資産の取得による支出	△65,989	△273,474
無形固定資産の取得による支出	△5,230	△35,119
貸付けによる支出	△12,000	—
貸付金の回収による収入	352	137
差入保証金の差入による支出	△19,105	△20,833
差入保証金の回収による収入	55,161	31,817
長期前払費用の取得による支出	△93,497	△93,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,260	△390,967
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,840	△3,814
その他	△32	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,873	△3,879
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	227,974	△135,130
現金及び現金同等物の期首残高	1,556,825	1,784,800
現金及び現金同等物の期末残高	1,784,800	1,649,669

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	△33.34円	△25.10円
1株当たり当期純利益	1.97円	14.67円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	1.51円	11.29円

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	9,743	72,701
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	9,743	72,701
期中平均株式数 (千株)	4,954	4,954

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 連結売上高の内訳

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)		当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	5,199,692	95.7	4,941,815	99.2	△257,877	95.0
アルファトレンド㈱	229,850	4.2	37,298	0.8	△192,551	16.2
㈱さいか屋友の会	1,610	0.0	619	0.0	△990	38.5
小 計	5,431,152	100.0	4,979,732	100.0	△451,419	91.7
内部売上高の消去	△226,477	—	△29,589	—	196,887	—
合 計	5,204,675	—	4,950,143	—	△254,531	—

(2) 店別売上高 (単体)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)		当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
藤沢店	2,445,712	55.9	2,141,235	52.4	△304,476	87.6
横須賀店	1,350,541	30.8	1,256,290	30.7	△94,251	93.0
川崎店	582,952	13.3	692,062	16.9	109,110	118.7
小 計	4,379,206	100.0	4,089,588	100.0	△289,617	93.4
テナント及び手数料収入	820,486	—	852,226	—	31,739	—
合 計	5,199,692	—	4,941,815	—	△257,877	—